



一体誰が？

漫画：東園子



次号、新しい仲間が登場!?

①の ちょっと聴いてみて!

編集部(の)が、好きな音楽を好きなようにご紹介する新コーナー「ちょっと聴いてみて!」を不定期で連載することになりました。おながく通信読者のみなさまは、日頃クラシック音楽を耳にされる機会が多いことと思います。そこでここでは、耳なじみの薄いであろう、新しい音楽をご紹介したいと思います。今回は、OTOMOTOのお二人です。

Vol.1 OTOMOTO

作曲家の松本悠理香、三味線奏者の大友美由奈による
新進気鋭の邦楽創作ユニット「OTOMOTO」 ●OTOMOTO official web site
<https://www.otomoto-web.com/>

●まったく新しい、でもどこことなく懐かしさも感じる、不思議な響き——
現代邦楽と聞くと、少し取っつきにくく感じる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。彼女たちは、よくある和楽器と西洋音楽の組み合わせでもなく、アカデミックな現代邦楽とも違う、新しいサウンドを創り出しています。大友さんの三味線の魅力が、松本さんの作品によって——弦楽アンサンブルやピアノ伴奏のほか、大友さん自身の声=弾き歌いなど様々な編成で——表現されています。

◆代表曲「暁」のミュージックビデオが、YouTubeにて公開されています。→
<https://youtu.be/FD35WK0BIQA>



CD紹介

“響きの愉悅—音楽は「世界」とは何かということへの入口だ”
新垣 隆 (作曲家・ピアニスト)



dandanorchestra / DAN-010



昨年11月発売されたCDアルバム『艶 (ADE)』の記念コンサートが、東京(下北沢ハーフムーンホール)を皮切りに、長野(竹風堂大門ホール)、福岡(住吉神社能楽殿)で行われました。東京公演では、大友さんの弾き語りのほか、ピアノとのデュオ、弦楽アンサンブルなどが演奏され、優美かつ幻想的なサウンドで聴衆を魅了しました。

発売中 発表会ピアノ曲集
楽譜 にじいろのおくりものシリーズ

発表会の選曲で
お悩みの先生方へ!

- 導入～中級レベルを網羅
- 幼い生徒の手にも無理のない指使い
- さまざまな時代や国の作曲家の曲が1冊に
- 目新しい作曲家の曲も収録



1～4巻

連弾編1・2巻

選・校訂 丸子あかね

■菊倍判 / 1巻: 80頁 2巻: 106頁 3巻: 112頁 4巻: 136頁 / 本体価格各1,600円(税別) 連弾編1: 80頁 連弾編2: 104頁 / 本体価格各1,800円(税別)

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おながく.net <https://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍モール Beyond Publishing <http://bpub.jp/>
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

学研 3 TAKE FREE 月号
おながく通信

“平成最後”にやり残したことは何かなと考え、急に思い立って黒髪セミロングから金髪ショートにしてみました(金髪もショートヘアも初めて!)。ビビりな(の)は「会社で怒られたらどうしよう…」とビクビクしつつ出勤したのですが、思いのほか好評で—安心(ただし編集長は絶句でしたが……!)。自分では気に入っています!(の)

2019年2月25日

祝 新版 おながくドリルが
発刊30周年を迎えます!

おなじみのベストセラー、『新版おながくドリル』がこの2019年に、なんと発刊30周年を迎えます! これもひとえにご愛用くださっている先生方、生徒さんのお力添えがあってこそのこと。心からの感謝を申し上げます。30年…この年月ですと、ピアノの先生方の中には、幼少のころ『新版おながくドリル』をお使いいただいた経験をお持ちの方もいらっしゃるのではないのでしょうか。この「安心感」こそが『新版おながくドリル』の特徴でもあるのですが、実は30年前のまま現在にいたっているわけではありません! 編者の田丸信明先生は、増刷の度ごとに内容をチェックして、現在のレッスン内容にふさわしくなるよう、本当に少しずつですが手を加えてくださっています。それはさながら、成長する草花のお手入れをしているかのよう。「現在に生き続ける安定感」…これこそが、『新版おながくドリル』の姿なのです!



新版 おながくドリルとは…?

幼児から小学生を対象とした、音楽基礎能力を養うためのピアノ/教室用テキストです。音符の書き方から音階・和音・音楽用語にいたるまでを、初歩の生徒にわかりやすく説明しているほか、音感教育の要素も入っています。毎回のレッスンで活用することにより、生徒の音楽基礎能力が着実に高まっていくでしょう。

記念キャンペーンが始まります!

『新版おながくドリル』発刊30周年を記念してキャンペーンを開催する事になりました!
JCBギフトカード、QUOカードなど、魅力的な賞品をご用意して日ごろのご愛顧への感謝に代えさせていただきます!
詳しくは下記、ならびに店頭チラシ、POPなどをご覧ください。
皆様ふるってのご応募を心よりお待ち申し上げます!(か)



キャンペーン詳細

- 開催期間** 2019年4月1日(月)～9月30日(月) **賞品** A: JCBギフトカード15,000円分 20名様
B: JCBギフトカード10,000円分 20名様
C: QUOカード1,000円分 50名様
D: Happy Lesson♪シリーズ レッスンバッグ 200名様
- 応募期間** 第1回 2019年4月1日(月)～6月30日(日)
第2回 2019年7月1日(月)～9月30日(月) **応募方法** 対象商品に挟み込まれている応募はがきに必要な事項をご記入の上、ご応募ください。応募はがき1通につき1口のご応募とさせていただきます。厳正な抽選により当選者を決定し、賞品の発送をもって発表にかさせていただきます。賞品の発送は2019年7月中旬(第1回)、10月中旬(第2回)の2回となります。
- 対象商品** 新版 おながくドリル ①～⑦ ※2回とも当日消印有効

集中力が途切れてしまう 生徒へのアプローチ法

セミナーで、受講者の方からこのような感想をいただきました。
「あかね先生の教材はレッスンの冒頭に使っています。ピアノに向かう前にリズムをやると、子どもたちの集中力があがるようです。」

レッスンの間、子どもの集中力をいかに保つことができるかは大切なポイントですよね。
しかし、子どもの集中力は長くは続かないもの。「週1回のレッスンなのだから、せめてレッスンの間だけでも頑張ってもらいたい……」と思う先生も多いかと思いますが、現実にはなかなかうまくいかないもの。

集中力が途切れたときは、取り組む内容を変えると良いという話を聞いたことがあります。
あかねピアノ教室では、生徒の進度にもよりますが、ある年中の生徒の場合、レッスン時間の約半分を音符の学習とリズムの学習に、残りの時間をけんぱんの学習にあてているそうです。『おんぶカード』を使って音当てゲームでタイムを計ったあと、『リズムのほん』で身体を動かす「リズムうち」をして、『ちいさなおんがくかい』で先生と連弾。レッスン時間まるまるピアノの前に座りっぱなしではなく、短時間で取り組む内容を変えることで、集中力の途切れを感じることもなく、レッスンははかどるようです。ドリルやソルフェージュを挟む先生もいらっしゃるようです。セミナーで感想をくださった先生も、ピアノを弾く前にあえてリズム学習を挟むことで、効果的にレッスンを進めていらっしゃるのですね。
生徒さんひとりひとりに合ったレッスンの組み立て方があると思いますが、少しでもご参考になりましたら幸いです！次号は、ドリルとワークブックについてのお話です。(ゆ)



今日は何の日？

3月21日はムソルグスキーの誕生日 2019年は生誕180年

モデスト・ムソルグスキー (ロシア/作曲家/1839.3.21生)



© 留守 key

*小社刊・留守 key 著「スラーヴァ！ロシア音楽物語」ムソルグスキー解説 (のぶ) より

最後までロシア民衆のための音楽にこだわり続けた、孤独な作曲家

ムソルグスキーはサンクトペテルブルクの南西、プスコフのカレヴォ村で生まれた。家族は地主階級であった。母親の手ほどきで幼少の頃からピアノを弾き音楽に親しんでいたが、役人になることを望み、サンクトペテルブルクへ出て士官候補生としてスタートをきった。しかし、音楽の魅力に抗えず、仕事とは別に続けていくことを決意し、文化人や芸術家たちと交流を始めた。グリンカの薫陶を受けた作曲家のダルゴメイスキーや評論家のスターツフ、さらにすでに独自の活動をしていたバラキレフらと知り合うことで人生は大きく変わった。特に、ロシアの音楽を貴族から民衆へというバラキレフらの活動理念に深く共鳴し積極的にグループへ加わることになる(後の「ロシア五人組」)。
熱烈な理想主義者でもあったムソルグスキーは、同じような理念を掲げて華々しい活動を展開していた絵画のグループなどと比較し、自分たち音楽家は大きな成果を出していないのではないかと焦り始める。実生活でも、農奴解放などの政策により生まれ故郷の生家で農地が没収され収入が途絶えたり、最愛の母親が急死するなどの不幸も続いた。これらのことでわずかな稼ぎを得ていた役人仕事もおぼつかなくなり罷免されるなどして生活のバランスを崩し始める。
晩年は定職もなく酒に溺れ体調を崩し、仲間の尽力も及ばず極貧のうちに世を去る。

組曲《展覧会の絵》

「ロシア五人組」の仲間との活動がすっかり衰退してしまった頃、ムソルグスキーはガルトマンという画家と出会う。ロシア様式にこだわった建築などの実績もある個性的な人物であったが、意気投合し、音楽と絵画という2つの分野で民衆のためのロシア芸術を模索する仲となった。すっかり弱気になっていたムソルグスキーに、ようやく積極的に生きる意欲が戻ったが、この幸運な日々はガルトマンの急死によってあっけなく終わる。
再び失意の底へ落ちたムソルグスキーであったが、ガルトマンが残した絵画やデッサン、スケッチなど400点あまりを集めた遺作展を観て回り、その印象をもとに、それまで抱いていた様々な想いを込めて、ピアノ作品を作曲した。それが、組曲《展覧会の絵》だ。
この曲は展示された絵画の紹介ではなく、友の遺作展による「弔い」の作品なのである。後年、フランスの作曲家ラヴェルがオーケストラ用に編曲し大きな話題となり、この曲が広く知られることとなった。それにとどまらず、現在に至るまで多くの音楽家たちが様々な編曲を試みている。

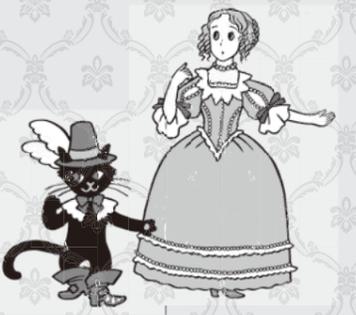
まめむしき ムソルグスキーの遺稿整理には、リムスキー＝コルサコフがあたった。その中から、組曲《展覧会の絵》を発見し出版した。

●商品紹介●

ムソルグスキーほか
ロシア作曲家の漫画が読める！
**スラーヴァ！
ロシア音楽物語**
留守 key 著
■A5判/144頁/本体価格1,300円(税別)



魅惑のバロック ～曲の背景を想う～



ピアノを習ったら必ずレパートリーとして演奏されるのがバロック時代の曲。もちろん中心になるのはJ.S. バッハの作品ですが、近ごろは、スカルラッチィ、クーラン、ラモー…などなど、以前より多彩な作曲家の作品が演奏されるようになってきたと感じられます。
ところでバロック時代に限った話ではないのですが、ある曲に取り組むとき、より良い演奏のために、その曲が作られた時代背景について知ろうとする事は、今や一般的と言えるほどに広まったのではないのでしょうか。
特にバロック時代は現代からの隔たりが大きい分、他の時代よりも文化的背景への理解が多く必要となると言えるでしょう。まず大きく異なるのが楽器です。30年ほど前から「古楽器」=当時の楽器での演奏会などが行われるようになり、私たちにも当時の音に接する機会が増えていますが、広く普及している…とはまだまだ言えないのではないのでしょうか。当時のチェンバロと現代のモダンピアノでは、音を出す仕組みがまったく異なりますし、楽器に使われる素材も、産業の発達に伴って大きく異なります。とても大雑把に表現すると、バロック時代の楽器はパワーを求められていない分、華奢で、まるで羽が舞うような軽やかさ、繊細さが表現できる…とても言えるのでしょうか。
そして、バロック時代の鍵盤楽器(オルガンを除く)として多く伝えられているのが「舞曲」。ですから、「バロック・ダンス」のステップの踏み方、からだの動きを知る事で、バロック時代の舞曲の演奏は見違えるようにステキになるはず！担当(か)がそれを実感したのは、メヌエットのステップの踏み方を知ったとき。楽譜を読むだけでは分からないフレーズの流れ方、拍の表し方…、まさに目からウロコ！特に、膝を使って沈む、そして跳躍するという、浮き沈みの動き(上下動、とも言えるでしょうか)が重要な事に驚きました。
さらに最近、初めて「バロック・ダンス」つきの演奏会にも行く機会に恵まれたのですが、当時の衣装を着て踊る人々を見ると、加えてテンポ感への理解も深まりました。詳しくは別の機会に譲りますが、ぜひバロック時代の曲をステキに弾きこなすために、「バロック・ダンス」への興味を持っていただけたらと思います。(か)



Now Printing
ゲーム感覚でバロック・ダンスのステップを知り、演奏に直結させる絵解き楽譜「PLUS BAROQUE (プリュ・バロック)」。3月下旬発売予定です！

Music Quiz

Q シューマンの『交響曲第3番』にはある川の名前が
ついています。それは次のうちどれでしょうか？

- ① モルダウ
- ② ドナウ
- ③ ライン
- ④ セーヌ

答え：③ライン
ライン川は、スイスから始まりドイツ、オランダを通過して北海へと流れるヨーロッパの大河です。この曲は、シューマンがライン川が流れるドイツのデュッセルドルフ市に移住した際に作曲されました。『ライン』という副題は、シューマンの死後につけられたそうですが、各楽章にライン川のさまざまな表情や、周辺をとりまく人々の生き生きとした様子が感じられます。この春休みは、音楽を通じて自然に触れてみてはいかがでしょうか。

発売中
書籍
一球入魂！一音入魂！
甲子園に響け！熱援ブラバン・ダイアリー



著：オザワ部長
■四六判/200頁+口絵8頁/本体価格1,200円(税別)

甲子園出場を目指す野球部を、音楽で応援し支える吹奏楽部の友情ドキュメンタリー！
・花咲徳栄(埼玉)
・常総学院(茨城)
・大阪桐蔭(大阪)
・作新学院(栃木)
・市立習志野(千葉)
・東邦(愛知)
・横浜(神奈川)
・東海大菅生(東京)
全8校を熱烈取材！

